





## 第1回学校評価へのご協力ありがとうございました

暑さ厳しい夏が終わり、澄んだ虫の音が響く季節となりました。

平素は本校教育にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、7月末にはお忙しい中、学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。保護者の皆様からの評価とご意見を受け、課題をとらえ、その改善に向けて取り組んでいきたいと考えています。結果から、ぜひ一緒に考えたいという点について紹介させていただきます。多くの皆様のご意見を大切に、今後の翔鸞教育に生かしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

### <確かな学力>

 評価項目 	児童(%)		保護者(%)	
	よく出来ている	大体出来ている	よく出来ている	大体出来ている
子どもが、人の話を聞くこと	57.4	38.6	18.9	65.0
子どもが分かりやすい授業であること	60.4	33.2	35.0	56.1
子どもが、自分の思いや考えを書いたり話したりすること	40.9	35.6	15.0	58.9
子どもが、1か月に5冊以上本を読むこと	67.3	15.8	16.7	30.0
子どもが、毎日家で勉強すること	54.0	24.3	22.2	40.0

### ◆考察と改善策

- ・昨年度、家庭学習について「自分で決めた時刻に始める」ことを評価していただきましたが、今年度は、「毎日家で勉強をする」ことについて評価していただきました。その時、15分×学年を学習時間の目安にしていただきました。この時間は、家で宿題をする時間だけでなく、塾に行っている時間等も含まれます。自主学習として自分の興味あることを調べたり、習い事に行ったり、色々な方法で学習ができていることと思います。ただ、高学年になるにつれて、15分×学年の時間に満たなくなっているようです。
- ・「1か月に5冊以上本を読む」については、朝読書が定着しており、その他にテストが早く終わった時や給食を待っている時など、色々な時間に読書をしているようですが、ポイントはまだ低いです。自分で何冊読んでいるのか意識していないかもしれませんし、特に保護者の方には、学校でどれだけ読んでいるかが伝わっていないかもしれません。読書ノートにきちんと記入をして、自分でもどれだけ読んでいるのが把握できるようにしていく必要があります。それと同時に、設定された時間以外にも本に向かうような取組をしていく必要があります。

### <豊かな心>

 評価項目 	児童(%)		保護者(%)	
	よく出来ている	大体出来ている	よく出来ている	大体出来ている
子どもが、進んであいさつをすること	79.7	15.8	24.4	58.3
子どもが、自分も友達も大切にすること	70.3	28.2	31.1	59.4
子どもが、学校で楽しく過ごすこと	74.3	18.3	48.3	43.9
子どもが、きまりや約束を守ること	57.4	37.1	21.7	62.8

### ◆考察と改善策

- ・「進んであいさつをすること」については、学校では児童会を中心とした「あいさつ運動」を登校時に実施していますが、正門ではあいさつができて、他の場所で自分からあいさつをしたり、来客にあいさつをしたりすることは、まだ十分にはできていません。幼いころからの習慣が大切かと思えます。学校でも、コミュニケーションをとるために気持ちのよいあいさつが大切なことを、1年生から指導しています。
- ・「一人一人大切にされること」「学校で楽しく過ごすこと」については、たくさん子ども達が、できていると評価しています。しかし、わずかであってもそうではないと考えている子がいます。困っていることや心配なことがないか、子ども達の様子をよく見て、話をしっかりと受けとめ、今後も一人一人が大切にされる学級づくり・学校づくりを目指します。
- ・「きまりや約束を守ること」については、守ることの大切さや必要性を、学年の発達段階に応じて指導してきました。できていることもたくさんありますが、廊下や狭い通路を走り回るなど、危険な行為に対してはこれからもしっかりと指導していきたいと思えます。

### <健やかな体・学校独自の取組>

評価項目	児童(%)		保護者(%)	
	よく出来ている	大体出来ている	よく出来ている	大体出来ている
子どもが、毎日朝食を食べること	89.6	8.9	66.1	30.0
子どもが、早寝・早起きをする	38.1	35.6	29.4	38.3

子どもが、安全に気をつけて登下校すること	83.2	15.3	44.4	53.3
進んで体を動かすこと	60.4	29.2	42.8	40.0
学校が、保護者や地域の方々々と力を合わせ、子どもの安全を見守ること			53.3	39.6
学校の行事が、子どもの成長にとって有意義であること			45.6	51.7

## ◆考察と改善策

・「朝食」「早寝・早起き」については、毎日を健康に過ごすための基本的な生活習慣です。学校でも指導しますが、ご家庭の協力が大切です。学習や活動にしっかりと取り組めるよう、また身体の発育・発達の観点からも、早寝・早起きの習慣が身につく、朝食をしっかりと食べて登校できますようご協力をお願いします。学校で不調を訴えて保健室へ行く児童の中には、前日11時や12時まで起きていたという子もいます。保健室でぐっすり寝ている子もいます。高学年になると、スマホ・パソコンでラインやユーチューブ等に向かう時間が増えるようです。テレビの視聴時間やパソコンの使用時間等、今一度親子でご確認ください。禁止するのではなく、色々な機器をうまく利用できるようなってほしいと思います。

## 自由記述欄に寄せられたご意見から（内容をご紹介します）

### ◆学習・生活について

・学校の朝の読書の時間の成果が、ようやく表れてきました。家でも、少しの時間があると本を読んでいる姿を見かけます。続けるという事は、いつか成果が表れるのだと実感できました。

\*うれしいことです。読書の楽しさを感じられたのでしょう。学校では、毎日朝読書の時間を設けています。わずか10分ですが、続ける意義は大きいと感じています。担任も、できるだけ一緒に読書をしています。大人が読書をする姿を見せることも大切かと思えます。

・先生のご提案で、まる字の直しを、本人の負担にならない程度に家庭でも取り組みました。家庭と学校が協力し、生徒の力を伸ばす事の大切さを感じています。

・我が子は低学年でもあり、まだ言葉の理解が出来ていないことが多く、注意している時も、何で言われているのか解らない時があるようです。学校では、日記の宿題で、主語と述語を分けて書くようにと指導されていました。これからもっと我が子と会話を増やし、言葉のコミュニケーションをしていきたいと思えます。

\*子どもを中心に、学校と家庭が協力して取り組んでいく事が大切です。担任から学校での様子についてお話をし、ご協力をお願いすることがあると思えます。また、保護者の皆様も、家での様子や学習、友達関係などでご心配なことがありましたら、いつでも学校にご相談ください。

・毎日楽しく通っている様でうれしく思いますが、時には、良いことばかりでなく、悪いこともきちんと伝えていただきたいと思えます。

・学校でケンカ等のトラブルがあった時に、他の方から聞いて知ることがあったので、連絡帳等で知らせていただけたら助かると思う事があります。

\*ご指摘の通りです。良いことはもちろんですが、子どもの成長のためには直していきたい事もきちんとお伝えして、保護者の方と協力して取り組んでいかなければなりません。今後も、色々なご連絡をさせていただきますが、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

・あいさつ運動では頑張っあいさつをしているけれど、それ以外の場所であいさつの言葉が出てくる子どもが少ない。自分もあいさつを返して、あいさつしやすい雰囲気作りが大事だと思う。

\*朝の正門前では、たくさん子ども達があいさつをしています。しかし、元気よくあいさつしてくれる子がいる反面、自分からあいさつをしていない子や、聞こえないような声であいさつをしている子も多いです。また、学校に来られたお客様にあいさつができない子が多いです。その日の朝の気分にもよりますし、まだ人前で声を出すのが恥ずかしい子もいます。それでも、毎朝児童会の子ども達や見守り隊の方々、教職員が正門前に立って声を掛け続けることで、少しずつあいさつができるようになってきた子がたくさんいます。出会った方にあいさつをする事が習慣となるよう、これからも指導をしていきたいと思えます。おうちでも、お声かけください。

### ◆学校評価について

・「確かな学力」実現度は少し厳しく評価しましたが、早生まれの低学年の子どもにとって、月齢の早い子達と比べると、授業についていったりお友達に自分の思いを伝えたりするのが難しいかなと感じているので、この評価になりました。

・アンケートをいつもとっていただき、ありがとうございます。我が子について考えるいい機会だと思います。

・アンケート用紙をいただき、いつもありがとうございます。子どものことを考え、これからも一緒に成長させていきたいと思えます。

・毎回ですが、このアンケートは必要でしょうか？

・よろしければ、としながら、子どもの封筒に入れるのは？

\*学校評価アンケートは、評価項目は学校である程度検討できますが、京都市立の全小学校で取組むことになっています。お子さんの様子を通して、本校の取組についての評価をしていただいています。良い点はこれからも継続していきますし、良くない点については、改善していきます。それと同時に、子育てを振り返るきっかけにいただいている方もおられて、ありがたいと思えます。保護者の方のお名前は、あくまでも任意です。担任が封筒で集めていますが、集計する時には全て出していますので、どなたのご意見かは分かりません。ただ、お名前を書いていただくと、個別に詳しくお話をさせていただくこともできますし、もう少しお話を聞かせていただくことも

できます。ご遠慮なくご意見をお寄せください。

## ◆安全について

- ・通学時、どんなに天気の良い日でも、毎朝、見守り隊の方達には子ども達の安全を見守っていただき、本当に感謝しております。地域の方々に支えられている事を実感しています。
- ・毎日学校に行くのが楽しみのようです。朝、玄関で元気いっぱいに行く姿を見て、私も元気をもらえます。これも、地域の方が見守り隊として、子ども達の登校を見守ってくださっているからこそだと思います。
- ・大きな地震があった日も、見守り隊の皆様のおかげで、学校に送り出す事ができました。ありがとうございました。
  - \*本当に、見守り隊の皆様にはお世話になっています。校区内の、たくさんの危険な交差点や、細い道から通りに出る所等に立ってくださっています。毎日のように立ってくださっているので、「今日は、あの子の元気がなかった。」「今日は一人で来ているけれど、友達と何かあったのかな。」「最近、大きな声であいさつをしてくれるようになりました。」等、色々なことを教えてください。時には、「路側帯からはみ出して歩いている子が多い。」「横断歩道でないところから渡っている。」など危ない行動を指摘してください。
- ・下校時の様子について、ランドセルを持ったまま公園で遊んでいたりと、通学路ではない道から帰ったりする子どもさんをよく見かけます。昔と違い、不審者がいたり子どもが巻き込まれたりする事件も多く、心配に思います。子どもさんによって下校時間が違ったり学童へ行ったりする子もいるので、朝の様な見守りは難しいかもしれませんが、今一度、下校時のきまりや安全についての指導をお願いしたいです。
  - \*学校でも、何度も何度も指導を入れています。それでも、友達と一緒にいると楽しくて、ついルールを破ってしまうようです。これからも、指導を重ねてまいります。保護者の皆様も、ルールを守っていない子ども達がいれば、注意をしていただければと思います。地域の子ども達を、地域の大人みんなで教養育てていければ安心かと思えます。よろしく願いいたします。
- ・6月に地震がありました。その後、学校のブロック塀などの安全性の点検はしているのでしょうか。通学路に多数ブロック塀があり、心配です。都道府県によっては点検を実施しているところもあるようですが、京都市や当校の取組を知りたいです。
  - \*地震の後、京都市から学校内と通学路のブロック塀を点検するよう各校に依頼があり、点検をしています。今のところ差し迫った危険箇所はありませんでしたが、先日の台風により、屋根瓦が落ちそうで心配だというご連絡をいただき、一部通学路を変えています。今後も、保護者の皆様や地域の皆様にご協力をいただきながら、校内や通学路の安全について確認をしていきたいと思えます。危険箇所等お気づきのことがありましたら、学校にお知らせいただきますようお願いいたします。



## 【学校運営協議会理事の皆様からのご意見】

### 「学習の様子」

- ・葉牡丹の種まきを指導する時、子ども達は集中して説明を聞き、スムーズに種蒔きをしていました。人の話を聞く事が身につくよう指導していただいている表れだと思います。

### 「あいさつの様子」

- ・下校の見守り時、低学年が慣れてきたのか、人懐っこく進んで短い会話をしてくれます。そして、別れ際に大きな声で「さよなら。」とあいさつをしてくれるようになりました。

### 「安全について」

- ・通学路での下校時、「白線の内側を歩く」「交差点では一旦停止・左右確認」を、今一度安全面で徹底したいと思います。
- ・登下校時、並んで歩いてほしいです。横に広がって、路側帯からはみ出していると危ないです。
- ・五辻通は、朝と夕方に車両通行禁止になるが、完全に通らない訳ではありません。「通行禁止」の安心感からか、道の真ん中を歩く児童がいて危ない。交通ルールは守ってほしい。
- ・大人の方も、信号を守る、小学生以上は自転車二人乗りしないなど、交通ルールを守ってほしい。

### 「全体について」

- ・学校・家庭・地域の、それぞれが「できること」「しなければいけないこと」を確認して、みんなの力で子ども達を育てていきたい。

皆様、貴重なご意見をありがとうございました。これからも、学校・家庭・地域が協力をして、翔鷹の子ども達をしっかりと守り、育ててまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

